

笹田 哲（大学院保健福祉学研究科兼務）**1 著書**

- 1) 笹田哲：作業療法評価学 第4版．QOL、興味、役割の評価．pp222-233．医学書院．2024．1．
- 2) 笹田哲：人間の発達とは．人間発達学．pp2-3．診断と治療社．2023．10．
- 3) 笹田哲：幼児期．人間発達学．pp24-43．診断と治療社．2023．10．
- 4) 笹田哲：学齢期．人間発達学．pp44-54．診断と治療社．2023．10．
- 5) 笹田哲：中学生高校生．人間発達学．pp55-62．診断と治療社．2023．10．
- 6) 笹田哲：微細運動．人間発達学．108-111．診断と治療社．2023．10．
- 7) 笹田哲：遊び．人間発達学．213-216．診断と治療社．2023．10．
- 8) 笹田哲：作業．人間発達学．220-224．診断と治療社．2023．10．
- 9)

2 学術論文

- 1) Ikeda K, Sasada S. (2024). Identifying characteristics of stroke patients benefiting from interprofessional collaboration. British Journal of Occupational Therapy.
<https://doi.org/10.1177/03080226241233127>
- 2) Nakamura T, Koyama S, Nagayama H, Sasada S. (2023). Participation questionnaire for preschoolers with autism spectrum disorder: content validation and item development. medRxiv .
<https://doi.org/10.1101/2023.08.22.23294206>
- 3) Nakamura T, Nagayama H, Sasada S. (2024). Development and Validation of the Participation Questionnaire for Preschoolers with Autism Spectrum Disorder: A Focus on Structural Validity, Internal Consistency, and Construct Validity. medRxiv.
<https://doi.org/10.1101/2024.02.13.24302559>
- 4) 林慎也，池田公平，村仲隼一郎，神保匡良，田中雅士，高見澤 広太，笹田哲．(2024)．脳卒中の リハビリテーションにおける患者報告アウトカム：スコアレビュー．作業行動研究 28(1)．
- 5) 重田優子，笹田哲．(2023)．回復期リハビリテーション病棟退院後の男性脳卒中者が「ありたい自分のイメージ」と折り合いながら社会参加を継続するプロセス．作業療法 42(2)：426-434．
- 6) 佐藤慶一，笹田哲．(2023)．回復期リハビリテーション病棟に従事する作業療法士が脳卒中者のトイレ動作を自立と判断する要因．作業療法 43(1)：

70-77.

- 7) 金原衣理子, 笹田哲. (2023). 脳卒中により半身麻痺となった女性がファッションショーを通して障害の捉え方が変化していく心理プロセス. 質的心理学研究 22 : 369-387.
- 8) 後藤健太郎, 中村拓人, 笹田哲. (2023). 作業療法における児童虐待予防の特徴: 質的記述的分析. 日本作業療法研究学会雑誌 26(1) : 13-20.
- 9) 池田公平, 笹田哲. (2023). セラピスト連携実践尺度 (Therapist Collaborative Practice Scale; TCPS) の信頼性および妥当性の検証. 作業療法 42(6) : 709-717.
- 10) 濱田匠, 笹田哲. (2023). 重症心身障害児の自立活動のコンサルテーションにおける医療機関に所属する作業療法士の専門性に対する学校教諭との認識の共有に向けた方略ー混合研究法の説明的順次デザインによる検討ー. 作業療法 42(4) : 416-425.
- 11) 中村拓人, 野口夏蓮, 池田公平, 笹田哲. (2024). 自閉スペクトラム症の家族機能に関連する要因は何か?-スコーピングレビュー-. 作業療法 43(1) : 15-22.
- 12) 重田優子, 笹田哲. (2023). 回復期リハビリテーション病棟退院後の男性脳卒中者が経験した社会参加のプロセス. 日本作業行動研究 27(3) : 159-168.

3 学会等での活動

- 1) 林慎也, 室澤信志, 笹田哲: 動機づけ面接を利用した遠隔作業療法にて麻痺手の使用頻度が向上した一事例ーABAB デザインによる検討ー. 第 57 回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 2) 重田優子, 笹田哲: 作業療法士と対象者との間にはどのような差異・ギャップが存在するのか. 第 57 回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 3) 金原衣理子, 笹田哲: 障害者のおしゃれの支援に関する文献研究ー好きな衣服を着ることに着目してー. 第 57 回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 4) 丸岡ちひろ, 笹田哲: 医療機関で加療している脳血管障害者の作業に基づく実践-文献レビュー-. 第 57 回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 5) 後藤健太郎, 中村拓人, 笹田哲: 作業療法士による児童虐待予防の類型. 第 57 回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 6) 後藤 健太郎, 笹田哲: 専門職間連携による児童虐待予防に係る専門職と機関の特徴と作業療法士の課題. 第 29 回日本子ども虐待防止学会, 2023. 11. 大津市.
- 7) 神保匡良, 笹田哲: 人間作業モデルの学びと実践が作業療法の独自性の発揮に与える影響-1 事例による質的分析-. 第 32 回日本作業行動学会学術集会,

2023. 6. 福島市.

- 8) 神保匡良, 笹田哲: 人間作業モデルの実践の経験が作業療法士の専門性の認識に与える影響-SCATを用いた質的分析-. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 9) 井上由貴, 笹田哲: 橈骨遠位端骨折患者における作業質問紙と痛みの自己効力感の傾向-一事例の報告-. 第32回日本作業行動学会学術集会, 2023. 6. 福島市.
- 10) 井上由貴, 池田公平, 牛腸昌利, 村仲隼一郎, 笹田哲: 橈骨遠位端骨折の対象者の選定方法と作業療法内容の傾向-文献レビュー-. 第57回日本作業療法学会, 沖縄(2023. 11. 11.)
- 11) 野村真弓, 笹田哲: 急性期病院の認知症患者に対する作業療法実践-過去10年間の文献レビュー-. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 12) 安部林太郎, 笹田哲: 急性期病院入院中の心疾患患者に対する作業療法実践に関する文献レビュー. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 13) 阿部直人, 笹田哲: 急性期身体障害領域における作業に焦点を当てた実践に関する文献レビュー. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 14) 平松恭介, 古田憲一郎, 笹田哲: 訪問・通所リハビリテーション利用者の作業療法目標と支援-日本作業療法士協会事例報告登録システムによるナラティブレビュー-. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 15) 池田公平, 笹田哲: 脳卒中患者の日常生活活動改善の予測因子-医療提供体制と臨床過程の構造方程式モデリング-. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 16) 牛腸昌利, 窪田聡, 古舘卓也, 笹田哲: 座位姿勢の違いは健常成人の運筆のパフォーマンスと頭部移動距離に影響するか. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 17) 濱田匠, 笹田哲: 重症心身障害児の自立活動に対する作業療法士の専門性を学校教諭と共有するための方略-混合研究法の説明的順次デザインによる検討-. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 18) 中村拓人, 長山洋史, 笹田哲: こどもの参加質問紙-自閉スペクトラム症児の疾患特異的参加測定ツールの開発-. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 19) 佐藤慶一, 笹田哲: 回復期リハビリテーション病棟に従事する作業療法士が脳卒中者のトイレ動作を自立と判断する要因. 第57回作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 20) 田中雅士, 池田公平, 笹田哲: 回復期リハビリテーション病棟における作業療法士の卒後教育の課題. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 21) 高見澤広太, 笹田哲: 筆記具の把持形態がもたらすパフォーマンスの特徴. 第57回日本作業療法学会, 2023. 11. 那覇市.
- 22) 杉山いずみ, 笹田哲: 生活支援員と看護師における重症心身障害者に対する集

団活動支援の意識と支援の変化．第 57 回日本作業療法学会，2023. 11. 那覇市．

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) NHK E テレ特別支援教育「ストレッチマン・ゴールド」番組企画委員
- 2) 教育出版社 小学校教科書「国語科書写」編集委員
- 3) 教育出版社 中学校教科書「国語科書写」編集委員
- 4) 横須賀市建築審査会委員
- 5) 日本作業行動学会 理事
- 6) 日本発達系作業療法学会 理事
- 7) 日本発達系作業療法学会 学術誌査読委員
- 8) 第 57 回日本作業療法学会 演題採択委員

5 学内教育活動

- 1) 大学院博士後期課程 指導教員 5 名
- 2) 大学院博士前期課程 指導教員 6 名
- 3) 学部 卒業研究 指導教員 4 名
- 4) オープンキャンパス リハビリテーション学科の紹介
- 5) 横須賀市馬堀小学校特別支援学級 交流授業 2023. 11.

6 学内各種委員会活動

- 1) 学長補佐会議
- 2) 総務企画委員会
- 3) 学科長会議
- 4) 教育研究審議会
- 5) 昇任委員会、任期委員会
- 6) 研究科運営委員会
- 7) 内部質保証推進部会
- 8) 自己評価委員会
- 9) アドミッション運営会議

7 社会貢献

- 1) 神奈川県立養護学校自立活動（専門職）OT 部会アドバイザー 2023. 10.
- 2) 東京都特別支援学校 外部専門員 2023. 9.

8 外部資金

- 1) 文部科学研究費助成事業「基盤 C 効果的な児童発達支援には何が必要か：評価指標の開発と促進因子の抽出」研究分担
- 2) 神奈川県作業療法士会研究助成事業 「書字の運筆における座位姿勢と体幹筋活動の関連」研究分担

9 新聞・放送等

- 1) NHK E テレ「でこぼこポン」縄跳びが上手に跳べる発明品. 監修. 2023. 10.

10 受賞等

日本作業行動学会 優秀論文賞

人間作業モデルの学びと実践が作業療法の独自性の発揮に与える影響. 第 32 回日本作業行動学会学術集会, 2023. 6. 福島市.

奥原 孝幸（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 能登真一等編集 奥原孝幸他 35 名 作業療法評価学第 4 版 医学書院 2024 年 1 月
- 2)
- 3)

2 学術論文

- 1)
- 2)
- 3)

3 その他の著作

- 1)
- 2)
- 3)

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 横須賀市自殺対策推進協議会構成員（副座長）
- 2) 日本作業療法士協会事例報告登録制度審査委員
- 3) 神奈川県作業療法士会理事（生活行為向上マネジメント推進委員会担当）
- 4) 神奈川県作業療法士会代議員
- 5) 日本病院・地域精神医学会選挙管理委員会委員長
- 6) 第 66 回日本病院・地域精神医学会総会神奈川大会運営委員長（本学開催）
- 7) 横浜 CBT に集う会代表
- 8) 首都圏精神科作業療法連絡協議会理事
- 9) 精神科作業療法集談会世話人
- 10)

5 社会貢献

- 1) 横須賀市保健所自殺対策連絡会構成員（副座長）
- 2) 神奈川精神医療人権センター電話相談担当
- 3) 横浜ピアスタッフ協会支援ボランティア

6 講演，放送

- 1) 神奈川県作業療法士会 現職者研修「作業療法生涯教育概論」講演、令和 5 年 10 月
- 2)
- 3)
- 4)

7 学会等での活動

- 1) 第 66 回日本病院・地域精神医学会総会神奈川大会運営委員長（本学開催）
- 2)

8 学内教育活動

- 1) 精神障害作業療法演習．ピア（当事者）への面接演習を実施．
- 2) 就業援助論、地域作業作業療法学にて就労支援施設のピアスタッフ、メンバー、施設長を招き、職業に関してシンポジウム形式にて授業を実施．
- 3) 精神障害作業療法学関連科目の担当
- 4)

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科入試委員会
- 2)

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) なし
- 2)

11 学内研究助成金の受託

- 1) なし
- 2)

12 受賞

- 1) なし
- 2)

13 特許など

- 1) なし
- 2)

14 その他

- 1) 作業療法学専攻長（2023 年 4 月～）
- 2)

白濱 勲二（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 白濱勲二. 他著 (2024). 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版. 医学書院.
- 2)
- 3)

2 学術論文

- 1) 宮内 貴之, 佐々木 祥太郎, 佐々木 洋子, 最上谷 拓磨, 白濱 勲二. (2024). 急性期くも膜下出血患者の注意機能の行動観察評価と日常生活活動の自立度の推移. 作業療法ジャーナル, Vol.58, No.2, p161-166.
- 2) Takayuki Miyauchi, Shotaro Sasaki, Yoko Sasaki, Takuma Mogamiya, Rumi Tanemura, Kunji Shirahama.(2023). Observational Rating Scale of Attention Function is Associated with Independence in Activities of Daily Living. Asian J Occup Ther 19: 236-242.
- 3)

3 その他の著作

- 1)
- 2)
- 3)

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 白濱勲二. 日本作業療法士協会 学術誌 作業療法学 第1査読者
- 2) 白濱勲二. 日本作業療法研究学会 理事・編集同人
- 3)
- 4)

5 社会貢献

- 1) 白濱勲二 オープンキャンパス. 2023. 8. 5-6.
- 2) 白濱勲二 ミニオープンキャンパス. 2024. 3. 28.
- 3) 白濱勲二 神奈川県立藤沢総合高等学校出張講座. 2023.12.19
- 4) 白濱勲二 神奈川県立横須賀大津高等学校 系統別説明会. 2023.7.19.
- 5) 白濱勲二 スーパーサイエンススクール (SSH) 神奈川県立横須賀高等学校 Principia II 担当教員 2023. 4～2024. 3.
- 6)
- 7)
- 8)
- 9)

6 講演，放送

- 1)
- 2)
- 3)

7 学会等での活動

- 1) 学会発表 白濱勲二，黒澤千尋，藤田峰子，小池友佳子，安田大典．COVID-19 が地域在住高齢者の身体・認知機能、活動範囲、QOL に与えた影響．第 57 回日本作業療法学会（沖縄）．2023.11.10-12.
- 2)
- 3)
- 4)

8 学内教育活動

- 1) 白濱勲二．学部担当科目等の視聴覚教材製作 通年
- 2) 白濱勲二．学部卒業研究指導 通年
- 3) 白濱勲二，学部 4 年生担任 通年
- 4) 白濱勲二．保健学研究科における講義，演習，研究指導．通年
- 5) 白濱勲二．博士課程前期 指導教員および大学院生の教育・研究指導 通年
- 6) 白濱勲二．博士課程後期 指導補助教員および大学院生の教育・研究指導 通年
- 7)
- 8)
- 9)

9 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 委員 2023 年 4 月～現在
- 2) アドミッションセンター入試広報委員会 委員 2023 年 4 月～現在
- 3)
- 4)
- 5)

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1)
- 2)
- 3)

11 学内研究助成金の受託

- 1)
- 2)
- 3)

12 受賞

- 1)
- 2)
- 3)

13 特許など

- 1)
- 2)
- 3)

14 その他

- 1) 白濱勲二 大学広報活動 神奈川大学附属高等学校. 2023.10.11.
- 2) 白濱勲二 大学広報活動 横浜高等学校. 2023.9.26.
- 3) 白濱勲二 大学広報活動 大学進学フェスタ in YOKOHAMA. 2023.9.24.
- 4) 白濱勲二 夢ナビライブ 2023 in Autumn. 研究室訪問 2023.10.21.
- 5)
- 6)
- 7)

玉垣 努（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 編集 能登真一,山口昇,玉垣努,他. 2024. 作業療法評価学 第4版. 医学書院にて感覚知覚検査,脳血管障害,脊髄損傷の執筆.
- 2)
- 3)

2 学術論文

- 1)
- 2)
- 3)

3 その他の著作

- 1)
- 2)
- 3)

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 令5年度神奈川リハビリテーション事業団評議委員
- 2) ヨスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会委員
- 3) 認定介護福祉士養成研修 認証審査員
- 4) 第58回 日本作業療法学会演題審査委員
- 5) 第37回リハ工学カンファレンスにて参加および発表 2023年8月24日～26日

5 社会貢献

- 1) 神奈川リハセンター 評議委員として評議委員会に出席した 6月28日
- 2) ヨスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会会議参加
- 3) 認定介護福祉士養成研修 認証審査を実施し

6 講演，放送

- 1) 神奈川県地域支援センター主催のハンドリング入門の対面での講義（4月23日）
- 1) EPoch エポックセミナー講習会を「脳卒中片麻痺患者様の上肢リーチ動作の獲得とリハビリテーションの進め方」のテーマでズームでの研修（8月12日19日）
- 2) Laugh 講習会にて「脊髄損傷のリハビリテーション」のテーマでズームでの研修（2月3日10日17日）
- 3) 県大卒業生および近隣のPT,OT対象の「よこすかOT勉強会」1回／月の12回実施

7 学会等での活動

- 1)
- 2)

8 学内教育活動

- 1) 臨床指導者会議の運営を実施した
- 2) コロナ対策を準備した上で、対面にて3年生対象に実習に向けての身体障害領域の特別講義4日各2コマ実施した
- 3) 実際の頸髄損傷患者さんを見たことのない学生のために、臨床でのビデオを編集し講義の資料を作成
- 4) 身体障害作業療法演習において客観的臨床テスト（オスキー）を実施
- 5) 実際の患者さんを見たことのない学生のために、コロナ対策を準備した上で、対面にて日常生活援助論において頸髄損傷者及び脳卒中者を招聘し、実践的な教育を実施した
- 6) 人事小委員会にて昇任人事の委員
- 7) 卒業研究において、4名のゼミ学生を指導し卒業・就職まで支援した。

9 学内各種委員会活動

- 1) 全ての入試試験において面接官担当
- 2) オープンキャンパス参加
- 3) 教務委員として活動した
- 4) 実習ステーションWGとして活動した
- 5) 時間割ワーキングの委員として活動した

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 東京大学インクルーシブ・デザイン・ラボ プロジェクトの共同研究
- 2)
- 3)

11 学内研究助成金の受託

- 1)
- 2)
- 3)

12 受賞

- 1)
- 2)
- 3)

13 特許など

- 1)
- 2)
- 3)

14 その他

- 1)

2023.4.1～2024.3.31

神奈川県立保健福祉大学 教育研究活動報告書

2)

3)

長山 洋史（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 能登真一他編，作業療法評価学第4版，「日常生活活動の評価」執筆，東京，医学書院，p196～219

2 学術論文

- 1) Ikeda K, Kaneko T, Uchida J, Nakamura T, Takeda T, Nagayama H. Identifying profiles of stroke patients benefitting from additional training: a latent class analysis approach. J Rehabil Med. 2024 Feb 21;56:jrm22141. doi: 10.2340/jrm.v56.22141.
- 2) Kaneko T, Nagayama H, Ikeda K, Nakamura T, Niimi A, Inoue N, Takeda T, Uchida J. Cost-effectiveness of occupational therapy for older adults: a protocol for an updated systematic review. BMJ Open 2023;13:e079318. doi: 10.1136/bmjopen-2023-079318
- 3) Junya U, Moeka Y, Hirofumi N, Tomori K, Ikeda K, Yamauchi K. Prediction of Overall Patient Characteristics that Incorporate Multiple Outcomes in Acute Stroke: Latent Class Analysis. medRxiv 2023:2023.05.24.23290504. doi: 10.1101/2023.05.24.23290504 (Preprint)
- 4) Nakamura T, Koyama S, Nagayama H, Sasada S. Participation questionnaire for preschoolers with autism spectrum disorder: content validation and item development. medRxiv 2023:2023.08.22.23294206. doi: 10.1101/2023.08.22.23294206 (Preprint)
- 5) Nakamura T, Nagayama H, Sasada S. Development and Validation of the Participation Questionnaire for Preschoolers with Autism Spectrum Disorder: A Focus on Structural Validity, Internal Consistency, and Construct Validity. medRxiv 2024:2024.02.13.24302559. doi: 10.1101/2024.02.13.24302559 (Preprint)
- 6) Izumi R, Noto S, Nagayama H, Sano T, Takizawa H, Tsukakoshi D. Degree of coincidence of the change in health-related QOL in the recovery-phase rehabilitation ward and the proxy's response: Evaluation of patients with musculoskeletal disorder by EQ-5D-5L, 31 January 2024, PREPRINT (Version 1) available at Research Square [https://doi.org/10.21203/rs.3.rs-3889431/v1] (Preprint)
- 7) 渡邊 恵，長島俊輔，玉川 淳，志村華絵，加藤木真史，佐々木杏子，森 朱輝，藤田峰子，長山洋史，池田公平，五味郁子，樋口良子，福岡梨紗，岸川 学，高橋恭子，水戸優子. 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 保健医療福祉連携, 2023, 17(1), 2-13.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法協会学術誌「作業療法」査読者
- 2) 日本臨床作業療法学会誌 論文査読委員
- 3) 日本作業療法士協会 組織的学術研究体制ワーキンググループ 委員
- 4) 日本作業療法学会 演題査読委員
- 5) The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024 Reviewer

- 6) 日本老年療法学会 評議員
- 7) 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

5 社会貢献

- 1) Archives Physical medicine and Rehabilitation (国際誌), Topics in Stroke Rehabilitation (国際誌), 作業療法 (国内学会誌), の査読.
- 2) 高校への専攻説明出張 1校
- 3) オープンキャンパス 2日間
- 4) ミニオープンキャンパス 企画運営

7 学会等での活動

- 1) 第 57 回日本作業療法学会
教育講演 2 「臨床研究のデータ解析～回帰分析について～」
講師：新谷歩
座長：長山洋史
- 2) 第 10 回日本予防理学療法学会
オーガナイズドセッション「介護予防教室や地域活動に参加できない人へのアプローチ」
座長：長山洋史
- 3) 長山洋史, 内田順也, 山田萌加, 池田公平, 友利幸之介. 急性期脳卒中患者の全体像予測モデルの開発—潜在クラス予測モデルによる予後予測—. 第 60 回日本リハビリテーション医学会 (福岡), 2023
- 4) 井上那築, 長山洋史. 回復期リハビリテーション病院における ADL 訓練と対象特性の探索的研究—潜在クラス分析での検討—. 第 57 回日本作業療法学会 (沖縄), 2023
- 5) 泉良太, 佐野哲也, 能登真一, 長山洋史, 滝澤宏和. 回復期リハビリテーション病棟運動器疾患患者における健康関連 QOL の変化と一致度の解明. 第 57 回日本作業療法学会 (沖縄), 2023
- 6) 島田岳, 森元隆文, 長山洋史, 小林正義. 統合失調症の認知機能に対する個別作業療法：ランダム化比較試験. 第 57 回日本作業療法学会 (沖縄), 2023
- 7) 中村拓人, 長山洋史, 笹田哲. こどもの参加質問紙：自閉スペクトラム症児の疾患特異的参加測定ツールの開発. 第 57 回日本作業療法学会 (沖縄), 2023
- 8) 渡邊 恵, 長島 俊輔, 玉川 淳, 志村 華絵, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 岸川 学, 高橋 恭子, 水戸 優子. 多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ. 第 1 回ヒューマンサービス学会学術集会講演抄録集(pp.15-16), 神奈川県. 2023

8 学内教育活動

- 1) 大学院前期博士課程 1名 副指導教員
- 2) 身体機能評価学Ⅰ 科目責任者
- 3) 身体機能評価学Ⅱ 科目責任者

- 4) 評価学演習 科目責任者
- 5) 運動学 科目責任者
- 6) 作業療法概論
- 7) 地域作業療法学
- 8) 日常生活活動論
- 9) 研究法
- 10) 機能障害作業療法学
- 11) 機能障害作業療法学演習
- 12) 学部1年生担任

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員
本年度より、倫理審査委員として、研究倫理審査に携わっている。2023年度 治験・倫理審査委員会委員研修（国立がん研究センター）修了。
- 2) アドミッションセンター分析部門委員
分析部門委員として、コンサルによる専攻別講義1回、学科別講義1回を開催した。また、専攻内でのコンサルへの質問依頼の受付などを担当した。
- 3) 専攻内入試広報ワーキンググループ委員
月1回程度、専攻内で入試広報などについて委員として参加した。

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 B：「脳卒中患者の全体像予測システムに基づくリハビリテーション治療戦略」研究代表者
- 2) 基盤研究 C：「効果的な児童発達支援には何が必要か：評価指標の開発と促進因子の抽出」分担研究者
- 3) 基盤研究 C：「臨床現場の医療従事者のための Interprofessional Education プログラムの構築」分担研究者

渡邊 愛記（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 松岡耕史, 渡邊愛記, 川口敬之, 福田倫也: 脳卒中患者の麻痺側上肢による生活動作における目標設定支援システム (e-ASUHS β 版) の開発. 作業療法の実践と科学 5(1), 1-5, 2023.
- 2) Akinori Nishimura, Sumi hidaka, Takayuki Kawaguchi, Aki Watanabe, Yasuhiro Mochida, Kunihiro Ishioka, Milanga Mwanatanbwe, Takayasu Ohtake, Shuzo Kobayashi. Relationship between lower extremity peripheral arterial disease and mild cognitive impairment in hemodialysis patients. Journal of Clinical Medicine 2023, 12(6), 2145.
- 3) 氏井直樹, 松岡太一, 原田美和子, 中村深雪, 川口敬之, 渡邊愛記: 強度行動障害を呈する長期間保護室対応の自閉スペクトラム症患者に対する作業に焦点を当てた実践の効果. 作業療法 42:337-344, 2023.
- 4) Aki Watanabe, Takayuki Kawaguchi, Koshi Matsuoka, Harumi Kotaki, Makoto Suzuki, Michinari Fukuda. Difficulty and Change of Sub-items of the Dementia Behavior Disturbance Scale in Patients with Alzheimer-type Dementia. Asian Journal of Occupational Therapy 19: 108-116, 2023.
- 5) Aki Watanabe, Takayuki Kawaguchi, Ayumi Nobematsu, Satoshi Sasada, Nozomi Kanari, Tatsuya Maru, Takeshi Kobayashi. Estimation of a structural equation modeling of quality of life mediated by difficulty in daily life in survivors of breast cancer. Healthcare 2023, 11, 2082.
- 6) 小澤弘幸, 渡邊愛記, 石井杏樹, 川上祥, 小林健太郎: 視空間認知障害を合併した脳卒中片麻痺患者に対する応用行動分析学に基づいた上衣着衣練習の効果: 単一事例研究. 作業療法 42: 663-669, 2023.
- 7) 古屋慶一郎, 松岡太一, 川口敬之, 渡邊愛記: 作業機能障害に焦点を当てた実践により服薬に伴う活動性低下の改善をもたらした認知症治療病棟における一事例. 作業療法 43: 106-113, 2024.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法学会 演題査読委員
- 2) 厚生労働省臨床実習指導者講習会 講師・世話人

5 社会貢献

- 1) 高校における進路説明会 1校
- 2) オープンキャンパス 参加
- 3) ミニオープンキャンパス 参加

6 講演, 放送

- 1) e-ASUHS 研修会「e-ASUHS 研究キックオフミーティング」 講義 (2023. 7. 3/7. 17)
- 2) 神奈川県作業療法士会 第5回臨床実習指導者講習会 講義 (2023. 12. 2)

7 学会等での活動

- 1) 佐野 邦典, 木村 活生, 坂本 安令, 渡邊 愛記, 根本 明宜, 上田 直久: パーキンソン病

患者に対する自主トレーニングリーフレットの紹介と今後の展望. 第 17 回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres. (2023 年 7 月 22 日)

- 2) Takayuki Kawaguchi, Aki Watanabe, Mai Sakimoto, Yuya Oikawa, Keiichiro Furuya, Taichi Matsuoka, Yasutaka Ojio: Structural relationship between changes in recovery and difficulties in severe and persistent mental illness. ACMHN 47th International Mental Health Nursing Conference 2023 (September 13-15, 2023)
- 3) 園田真子, 氏井直樹, 松岡太一, 川口敬之, 渡邊愛記: 作業の意味づけや提供方法の変更により行動が変化した統合失調症をもつ入院患者の一例. 第 19 回神奈川県作業療法学会. (2023 年 10 月 15 日)
- 4) 川口敬之, 村田雄一, 山元直道, 渡邊愛記, 森田三佳子: 精神科急性期病棟入院患者のセルフマネジメントと失体感症における要因構造の推定: 交差遅延効果モデルに基づく予備的研究. 第 57 回日本作業療法学会. (2023 年 11 月 11 日)
- 5) 松岡耕史, 渡邊愛記, 川口敬之: 回復期脳卒中患者の麻痺側上肢に対する主観的有用度における関連要因の検証. 第 57 回日本作業療法学会. (2023 年 11 月 11 日)

8 学内教育活動

- 1) 大学院前期博士課程 指導補助 3 名
- 2) 学部卒業研究指導 3 年生 2 名
- 3) 科目責任者
作業療法概論, 作業療法研究法, 義肢装具学, ハンドセラピー, 作業療法管理学Ⅱ,
作業療法理論
- 4) 科目一部担当
学部: 作業療法評価学概論, 身体作業療法演習, 日常生活援助論, 作業療法管理学Ⅰ
大学院: 生活障害作業療法学演習, 生活障害作業療法学特論
- 5) 学部 1 年生・2 年生担任

9 学内各種委員会活動

- 1) ヒューマンサービスセンター国際協働部門 委員

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 三菱財団社会福祉事業・研究助成社会: 「精神障害当事者と支援者との共創によるリハビリ促進に向けた協働意思決定モデルの構築」 分担研究者
- 2) 一般社団法人日本作業療法士協会課題研究助成: 「脳卒中片麻痺上肢で行う生活動作における新しい目標設定支援システム (e-ASUHS) の構築」 分担研究者
- 3) 一般社団法人神奈川県作業療法士会研究助成: 「出産・育児を経験した作業療法士が抱く「作業療法士観」構築の相互関係」 分担研究者
- 4) 日本医療科学大学学長特別研究費: 「乳がん当事者の QOL における経時的要因および予測可能性の検討」 分担研究者

小河原 格也（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Kakuya Ogahara, Akira Nakashima, Tomotaka Suzuki, Kenichi Sugawara, Naoshin Yoshida, Arihiro Hatta, Takefumi Moriuchi, and Toshio Higashi (2024) Comparing movement-related cortical potential between real and simulated movement tasks from an ecological validity perspective. *Frontiers in Human Neuroscience*, 17: 1313835. Doi: 10.3389/fnhum.2023.1313835

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本作業療法士協会事例登録 審査委員
- 2) 神奈川県作業療法士会 認知症対策委員会
- 3) 第 19 回神奈川県作業療法学会 事務局長
- 4) 三浦市地域ケア連携会議 構成員
- 5) 三浦市地域包括支援センター運営懇談会 構成員

5 社会貢献

- 1) グループホームいずみ運営推進会議 構成員
- 2) RUN 伴+三浦半島 2023 実行委員長
- 3) 認知症フレンドリーよこすか
- 4) フレンドリーみうら
- 5) オープンキャンパス

6 講演，放送

- 1) 厚生労働省指定 神奈川県作業療法士会 臨床実習指導者講習会 講師・世話人
- 2) 三浦市医師会 在宅医療ミーティング「健康寿命の延伸に向けてー作業療法の視点からー」講師
- 3) ブシップ オープンカレッジ「高齢社会を生き抜く」講師

8 学内教育活動

- 1) 老年期作業療法学，老年期作業療法学演習 科目責任者
- 2) 地域作業療法学，地域作業療法学演習 科目責任者
- 3) 地域リハビリテーション実習 科目責任者
- 4) 学部担当科目（一部担当分）
作業療法概論、評価学概論、運動学、遊び・余暇活動治療学、作業療法理論、管理運営、卒業研究、在宅看護学、評価学実習Ⅰ・Ⅱ、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ
- 5) 大学院担当科目（一部担当分）
機能障害作業療法学、機能障害作業療法学演習
- 6) 学部卒業研究指導（4年生2名、3年生2名）
- 7) 大学院副指導教員（2名）
- 8) 作業療法学専攻3年生担任

9) Windsurfing サークル顧問

10) SPOT サークル顧問

9 学内各種委員会活動

1) 開学 20 周年記念事業 企画ワーキンググループ（記念誌担当）

2) 図書委員会

3) パーチ委員

4) 保健医療福祉論タスクフォース

5) 作業療法学専攻 新カリキュラム実習検討委員

6) 作業療法学専攻 現任者教育検討委員

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

1) 科学研究費補助金

若手研究「高齢者の運動学習における脳内活動の縦断的变化と補助手段活用による促進効果の検証」小河原格也

2) 科学研究費補助金・分担

基盤研究(C)「脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発」黒河内仙奈，間瀬由記，島津尚子，小河原格也，末田千恵

11 学内研究助成金の受託

1) 研究助成 A（協働研究）・分担

「運動器疼痛を抱えた高齢者のサルコペニアの発生を予防する介入戦略の開発に向けた調査研究」平瀬達哉，成松宏人，中村翔，新村直子，小河原格也，池田公平，小池友佳子，田中繁治

2) 研究助成 B（奨励研究）・分担

「大学における認知症カフェの試行と学生が参加することによる学習効果」星美鈴，小河原格也，黒河内仙奈，間瀬由紀

池田 公平

1 著書

なし

2 学術論文

- 1) **Ikeda, K.**, Kaneko, T., Uchida, J., Nakamura, T., Takeda, T., & Nagayama, H. (2024). Identifying profiles of stroke patients benefitting from additional training: a latent class analysis approach. *Journal of rehabilitation medicine*, 56, jrm22141. <https://doi.org/10.2340/jrm.v56.22141>
- 2) **Ikeda K.**, Sasada S. Identifying characteristics of stroke patients benefiting from interprofessional collaboration. *British Journal of Occupational Therapy*. 2024;0(0). <https://doi.org/10.1177/03080226241233127>
- 3) **池田公平**, 笹田哲. (2023). セラピスト連携実践尺度 (Therapist Collaborative Practice Scale; TCPS) の信頼性および妥当性の検証. *作業療法*, 42(6), 709-717.
- 4) Kaneko, T., Nagayama, H., **Ikeda, K.**, Nakamura, T., Niimi, A., Inoue, N., Takeda, T., & Uchida, J. (2023). Cost-effectiveness of occupational therapy for older adults: a protocol for an updated systematic review. *BMJ open*, 13(12), e079318. <https://doi.org/10.1136/bmjopen-2023-079318>
- 5) 丸岡ちひろ, **池田公平**, 笹田哲. 作業療法士が脳血管疾患障害者に対し急性期より作業を用いる意義—作業療法士の語りから—. *作業療法* (2024.1.16 accepted)
- 6) 中村拓人, 野口夏蓮, **池田公平**. (2023). 自閉スペクトラム症の家族機能に関連する要因は何か?: スコーピングレビュー. *作業療法*, 43(1), 1-9.
- 7) 林慎也, **池田公平**, 村仲隼一郎, 神保匡良, 田中雅士, 高見澤 広太, 笹田哲. 脳卒中のリハビリテーションにおける患者報告アウトカム: スコーピングレビュー. *作業行動研究* (2024.3.6 accept).
- 8) 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, **池田公平**, 福岡梨紗. (2024). 高齢者看護学の学内実習における多職種コンサルテーションの実践報告. *神奈川県立保健福祉大学誌*, 21(1), 73-84. <https://doi.org/10.15042/0002000045>
- 9) 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, **池田公平**, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. *保険医療福祉連携*, 17(1), 2-13.

3 その他の著作

なし

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会 選挙管理委員長
- 2) 令和5年度老人保健事業推薦費等補助金(老人保健健康増進等事業分)事業【56番】

リハビリテーション・機能訓練，口腔，栄養の一体的取組に関する調査研究事業 事業実施小委員会 構成員

5 社会貢献

- 1) 本学オープンキャンパス，ミニオープンキャンパスの企画・運営補助
- 2) よこすか浦賀病院にて診療指導および地域医療への協力
- 3) ポートバレーヌ（横須賀市の団地）にて，健康チェック教室を開催（第1回：2023年9月10日，第2回：2023年11月26日）

6 講演，放送

なし

7 学会等での活動

- 1) 池田公平，笹田哲．脳卒中患者の日常生活活動改善の予測因子：医療提供体制と臨床過程の構造方程式モデリング．第57回日本作業療法学会，沖縄(2023.11.11.)
- 2) 井上由貴，池田公平，牛腸昌利，村仲隼一郎，笹田哲．橈骨遠位端骨折の対象者の選定方法と作業療法内容の傾向-文献レビュー-．第57回日本作業療法学会，沖縄(2023.11.11)
- 3) 村仲隼一郎，笹田哲，池田公平：脳卒中者に対するリハビリテーション実施時間数と実績指数との関連性の検討－回復期リハビリテーション病棟の退院時における横断研究－．第57回日本作業療法学会，沖縄(2023.11.10)
- 4) 渡邊恵，長島俊輔，玉川淳，志村華絵，加藤木真史，佐々木杏子，森朱輝，藤田峰子，長山洋史，池田公平，五味郁子，樋口良子，福岡梨紗，岸川学，高橋恭子，水戸優子．(2023).多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ．第1回ヒューマンサービス学術集会(2023.11.5).
- 5) 星美鈴，池田公平，福岡梨紗，間瀬由記，黒河内仙奈．高齢者看護学の学内演習における多職種コンサルテーションの実践報告．2023年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会(2023.8.8).

8 学内教育活動

- 1) 評価学概論 科目責任者
- 2) 臨床作業療法学演習 科目責任者
- 3) 総合臨床実習Ⅱ 科目責任者
- 4) 身体機能評価学Ⅰ 15 コマ
- 5) 身体機能評価学Ⅱ 15 コマ
- 6) 評価学演習 15 コマ
- 7) 運動学 15 コマ
- 8) 作業適用学 4 コマ
- 9) 作業療法概論 2 コマ
- 10) 作業療法管理運営Ⅰ 1 コマ
- 11) 作業療法管理運営Ⅱ 1 コマ
- 12) 地域作業療法学 1 コマ
- 13) 身体障害作業療法学演習（試験補助）
- 14) 解剖学実習Ⅱ（引率）
- 15) 学内実習 評価学実習（1 名 1 週間）
- 16) 身体機能評価学Ⅰ・Ⅱにて視聴覚教材を作成した。視聴覚教材の具体的な内容は、教員 2 名が脳血管疾患患者と作業療法士の役割を演じ、面接・評価・介入など作業療法士の臨床的思考過程を追体験できるものとした。
- 17) 作業療法専攻内では、OSCE ワーキンググループに所属し、OSCE 課題の内容の検討、当日スタッフの手配、配置、会場設営などを行った。
- 18) 見学評価学実習、評価学実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ、地域リハビリテーション実習では、それぞれ 2～3 名程度の学生の担当教員となり、実習前・実習中・実習後の面談を行った。特に、実習中、学生が現場で課題や態度などで困難に直面した際、随時面談を行った。

9 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会
- 2) 入学式・卒業式・修了式委員会
- 3) OSCE ワーキンググループ
- 4) 専攻内の入試ワーキンググループ
- 5) 専攻内の国家試験対策担当

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 臨床現場の医療従事者のための Interprofessional Education プログラムの構築（課題番号：23K10508）. 2023 年度 基盤研究(C). 2023 年度～2027 年度. 研究代表者.
- 2) 脳卒中患者の全体像予測に基づくリハビリテーション治療戦略（課題番号：20H03914）令和 2 年度～令和 5 年度. 研究分担者.
- 3) 令和 5 年度 厚生労働省 老人保健事業推進等補助金（老人保健健康増進等事業分）「リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取り組みに関する調査研究事業」の研究メンバー

- 4) 高齢者の健康寿命の延伸に寄与するリハビリテーション戦略の開発に向けた調査研究-ME-BYO & MI-RIZE Project-. 神奈川県みらい未病コホート研究の研究メンバー

11 学内研究助成金の受託

- 1) 平瀬達哉（研究代表者）、成松宏人、中村翔、新村直子、小河原格也、池田公平、小池友佳子、田中繁治。運動器疼痛を抱えた高齢者のサルコペニアの発生を予防する介入戦略の開発に向けた調査研究。研究助成 A. 1,108,819 円。2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日。
- 2) 黒河内仙奈（研究代表者）、岸川学、池田公平、長島俊輔、田中和美、樋口良子、福岡梨紗、渡邊恵、末田千恵。地域特性を反映した領域横断型学習教材の洗練と予備的導入。研究助成 A, 430,240 円, 2023.5.23～2024.3.31.

12 受賞

なし

13 特許など

なし

14 その他

なし

杉村 直哉

1 著書

- 1) 杉村直哉, 他 (2023). 精神科リハビリテーション評価技法ハンドブック. 中外医学社. (共著).
- 2) 杉村直哉, 他 (2023). 作業療法マニュアルシリーズ「うつ病を抱える対象者への作業療法」. 日本作業療法士協会. (編集責任者).
- 3) 杉村直哉, 他 (印刷中). 最新作業療法学講座 精神障害作業療法学. うつ病の作業療法. 医歯薬出版. (共著).

2 学術論文

- 1) 杉村直哉, 他 (2023). 難治性不安症と作業療法. 特集「難治性精神疾患と作業療法」. 臨床作業療法 NOVA 20(3): 46-58.
- 2) 杉村直哉, 他 (印刷中). 不安症の臨床推論. 特集「精神科作業療法と臨床推論」. 臨床作業療法 NOVA 21(4).

3 その他の著作

- 1) 武井勇樹, 飯盛佳子, 高橋健, 菅谷佑樹, 杉村直哉 (2023). 作業療法士による職場のメンタルヘルス対策 企業研修の実践と今後の可能性. 産業精神保健 31(増刊): S137.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 2023.10～ 日本作業療法士協会 メンタルヘルス等産業保健推進委員会 委員長 (～現在)
- 2) 2023.9～ 第 66 回日本病院・地域精神医学会総会 査読委員 (～2024 年 12 月)
- 3) 2023.7～ 日本うつ病作業療法研究会 理事 (現在に至る)
- 4) 2023.4～ 日本作業療法士協会 作業療法マニュアル編集委員会 委員 (現在に至る)
- 5) 2023.4～ 学術誌『作業療法』第一査読者 (現在に至る)
- 6) 2023.4～ 日本作業療法士協会 学術部 部員 (現在に至る)
- 7) 2023.1～ 日本産業精神保健学会 代議員 (現在に至る)
- 8) 2021.4～ 産業保健作業療法研究会 事務局長 (現在に至る)

5 社会貢献

- 1) 研究指導: 非常勤勤務する医療施設において研究指導を実施 (通年)
- 2) 臨床活動: 非常勤勤務する医療施設においてプログラムを担当 (1 回/週)
- 3) 本学オープンキャンパスの企画・運営
- 4) 本学ミニオープンキャンパスの補助

6 講演, 放送

- 1) 2023.7 第 20 回日本うつ病学会総会. シンポジウム「気分障害を持つ就労者が必要としている支援ー就労継続を多職種で考える」(シンポジスト)
- 2) 2023.8 第 30 回日本産業精神保健学会. 学会企画ワールドカフェ「若手の会」代表参加
- 3) 2023.9 公的精神科病院協会主催精神科作業療法士研修会 ファシリテーター

- 4) 2023.8 神奈川県総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション連携構築推進事業研修 講師

7 学会等での活動

- 1) (座長) 2023.12 第 66 回日本病院・地域精神医学会総会 一般演題発表
- 2) (発表) 2023.8 第 30 回日本産業精神保健学会. 作業療法士による職場のメンタルヘルス対策 ～企業研修の実践と今後の可能性～. (共同演者)
- 3) (発表) 2023.11 第 57 回日本作業療法学会. オンラインによる多施設共同運営プログラム「合同リワーク学会」の意義に関する考察. (共同演者)

8 学内教育活動

1) 授業関連

【科目責任】

- ・「基礎作業学実習 (1 年次)」

臨床に即した授業内容になるよう講師との調整も含め見直しを図った。また、当科目にかかわる国家試験問題を学習早期から意識づけるよう資料を作成する等の工夫をした。

- ・「見学評価学実習, 評価学実習」

学生へのオリエンテーションも含め、円滑な実習の実施をサポートした。

【卒業研究】

- ・4 年生 1 名, 3 年生 1 名を担当した。調査研究を通して基本的な統計処理について教示し, 論文指導を行った。

- ・卒業研究発表会の開催, 卒業研究論文集の発刊を行った。

【一部担当科目】

- ・作業療法学概論(1 年次): 精神障害作業療法の歴史
- ・作業適用学(1 年次): 精神障害事例の検討
- ・評価学概論(1 年次): 作業面接について
- ・精神機能評価学演習(2 年次): 認知機能障害について
- ・感覚運動アプローチ論(3 年次): 精神障害へのアプローチ
- ・精神障害作業療法学演習(3 年次): 精神科デイケア, ICF
- ・遊び余暇活動治療学(3 年次): リラクゼーション法
- ・産業リハビリテーション特論(3 年次): 産業精神保健・職業性ストレスについて
- ・就業援助論(3 年次): 気分障害の職場復帰支援について
- ・作業療法運営管理(4 年次): 管理運営, 国家試験対策
- ・臨床技能評価(2 年次): 精神科 OSCE マニュアルと試験問題を作成
- ・臨床技能評価(3 年次): 精神科 OSCE マニュアルと試験問題を作成, 試験監督

【実習】

- ・評価学実習(3 年次): 学生 2 名担当
- ・総合臨床実習Ⅱ(4 年次): 学生 2 名担当, 実習地訪問
- ・総合臨床実習Ⅰ(3 年次): 学生 2 名担当, 実習地訪問
- ・見学評価学実習(2 年次): 学生 3 名担当

- 2) 臨床実習に係る業務 (学生支援, 実習関連書類作成, 等)

- ・実習地や実習センターとの調整, 学生に対するオリエンテーション実施, 資料作成, 発送, 臨床実習指導者会議のセッティングなど臨床実習に係る業務
 - 3) 就職支援に関連する業務
 - ・就職情報, 就職就職履歴書指導, 小論文指導, 面接指導など就職支援に係る業務
 - ・求人情報の周知, 就職活動の状況把握, 就職先一覧の集約
 - 4) 国家試験に関連する業務
 - ・4年生の国家試験対策における個別学習支援.
- 9 学内各種委員会活動
- 1) 学生委員会
 - 2) 進路支援ワーキンググループ
 - 3) チューター会
 - 4) 作業療法学専攻 臨床実習ワーキンググループ
 - 5) 作業療法学専攻 現任者研修検討ワーキンググループ
作業療法参加型臨床実習 指導者向けシンポジウム「臨床思考過程の教示方法」.(2023.3.9 / 本学実践教育センターとの共催)
 - 6) 作業療法学専攻 入試関連ワーキンググループ
 - 7) 作業療法学専攻 オープンキャンパスの企画担当
- 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託
- 1) 科学研究費補助金, 若手研究, 研究代表者, 「ブルドン抹消検査を用いたうつ病休職者の新たな復職判定指標の確立」, 2021年4月1日～2025年3月31日, 3900千円
- 11 学内研究助成金の受託
- 1) 研究助成 B, 研究代表者, 「うつ病休業者の IADL 実行状況の実態調査と関連する因子の検討」, 2023 年度, 386 千円

中村 拓人

1 著書

- 1) 中村拓人, 笹田哲. 小児検査一覧, 笹田哲編, 人間発達をさらに学ぶためのブックガイド, 診断と治療社.
- 2) 中村拓人, 笹田哲. 人間発達をさらに学ぶためのブックガイド, 笹田哲編, 人間発達をさらに学ぶためのブックガイド, 診断と治療社.

2 学術論文

- 1) 中村拓人, 野口夏蓮, 池田公平, 笹田哲. (2024). 自閉スペクトラム症の家族機能に関連する要因は何か?— スコーピングレビュー—. 作業療法, 43(1), 15-22.
- 2) Nakamura, T., Koyama, S., Nagayama, H., & Sasada, S. (2023). Participation questionnaire for preschoolers with autism spectrum disorder: content validation and item development. medRxiv, 2023-08.
- 3) Nakamura, T., Nagayama, H., & Sasada, S. (2024). Development and Validation of the Participation Questionnaire for Preschoolers with Autism Spectrum Disorder: A Focus on Structural Validity, Internal Consistency, and Construct Validity. medRxiv, 2024-02.
- 4) Ikeda, K., Kaneko, T., Uchida, J., Nakamura, T., Takeda, T., & Nagayama, H. (2024). Identifying profiles of stroke patients benefitting from additional training: a latent class analysis approach. Journal of Rehabilitation Medicine, 56, jrm22141-jrm22141.
- 5) Kaneko, T., Nagayama, H., Ikeda, K., Nakamura, T., Niimi, A., Inoue, N., ... & Uchida, J. (2023). Cost-effectiveness of occupational therapy for older adults: a protocol for an updated systematic review. BMJ open, 13(12), e079318.
- 6) 後藤健太郎, 中村拓人, 笹田哲. (2023). 作業療法における児童虐待予防の特徴: 質的記述的分析. 日本作業療法研究学会誌, 26(1), 13-20.

3 その他の著作

- 1)
- 2)
- 3)

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会 選挙管理委員
- 2) 学術誌神奈川作業療法編集委員
- 3) 第 19 回神奈川県作業療法学会査読委員
- 4) 第 1 回ヒューマンサービス学会学術集会実行委員

5 社会貢献

- 1) チャレンジドチアインストラクターライセンス講習会講師
- 2) 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会プログラム講師(11/18-19)

- 3) 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会プログラム講師(12/2-3)
- 4) 神奈川県作業療法士会地域リハビリテーション部研修会講師(2/11)
- 5) 神奈川県立特別支援学校令和 5 年度 第 2 回専門職研究協議会(作業療法士専門部会)スーパースターバイザー(
- 6) 神奈川県立特別支援学校令和 5 年度 第 3 回専門職研究協議会(作業療法士専門部会)スーパースターバイザー(

6 講演, 放送

- 1)
- 2)
- 3)

7 学会等での活動

- 1) 施設入所する重症心身障害者の生活機能. 小島賢司, 中村拓人. 第 9 回日本小児理学療法学会学術会抄録集 Page75 P-1-13(2023.10)
- 2) こどもの参加質問紙: 自閉スペクトラム症児の疾患特異的参加測定ツールの開発. 中村拓人, 長山洋史, 笹田哲. 第 57 回日本作業療法学会. 2023 年 11 月
- 3) 自閉症スペクトラム症児の母親に Pathways and Resources for Engagement and Participation (PREP) を用いた一例. 中村 拓人, 田中 俊祐, 小山さくみ. 第 9 回日本臨床作業療法学会学術大会. 2024 年 3 月
- 4) 日本における自閉スペクトラム症児の感覚処理特性のサブタイプ. 土橋怜加, 中村拓人, 野田遥, 長山洋史, 笹田哲. 第 9 回日本臨床作業療法学会学術大会. 2024 年 3 月

8 学内教育活動

- 1) 「作業適用学」で科目責任者を務める. 新入生が作業療法に対する具体的なイメージを持つことができるよう, 講義だけではなく, 視聴覚教材や, ワークショップ形式も採用した. また専攻教員に協力を求め, グループに別れて事例を検討する問題解決型の授業を行った. さらに見学実習では, 実習の企画・運営を行う.
- 2) 「総合臨床実習 I」で科目責任者を務める. 初めて総合臨床実習であるため, オリエンテーションおよび OSCE を事前に実施する.
- 3) 「評価学概論」では「QOL・役割・興味の評価」の回を担当する.
- 4) 「発達系評価学」に補助として講義に参加し, およそ半分程度の講義を受け持つ.
- 5) 「発達障害作業療法学」に補助として講義に参加し, およそ半分以上の講義を受け持つ.
- 6) 「発達障害作業療法学演習」は補助教員として全ての講義に参加する.
- 7) 「遊び余暇活動治療学」ではおよそ 4 分の 3 程度の授業を担当する.
- 8) 「地域作業療法学」で講義を 2 回担当する.
- 9) 「感覚運動アプローチ論」で講義を 2 回担当し, 補助教員としても一部の授業に参加する.
- 10) 「作業療法研究法」(2022 年 11 月 14 日)では質的研究の講義を担当する.
- 11) 「臨床作業用法学演習」では, 実技試験(OSCE)を担当する.
- 12) 「作業療法管理運営」では講義を担当する.

- 13) 「作業療法理論」では講義を担当し、一部の授業に補助教員として参加する.
- 14) 「ヒューマンサービス総合演習」では半分程度の授業に補助教員として参加する.
- 15) 「救急救命学概論」で一部授業に補助教員として参加する.

9 学内各種委員会活動

- 1) 動物実験専門部会

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1)
- 2)

11 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成B:遠隔作業遂行コーチングプログラムが幼児期の自閉スペクトラム症を抱える子どもの養育者のQOLと子どもの発達に与える影響
- 2)
- 3)

12 受賞

- 1)
- 2)
- 3)

13 特許など

- 1)
- 2)
- 3)

14 その他

- 1)
- 2)
- 3)